

### 2 「高良川の昆虫と植物図鑑」について

●高良川は九州一の大川・筑後川の支流で福岡県久留米市を流れる長さ約11kmの自然豊かな川です。私たちの活動拠点の筑後川開渠遊歩くめがす周辺は、筑後川と高良川の合流部にあり、市街地に隣接しながら多様な自然に触れ合える環境です。水際にはオギやツルヨシなどの葦生があり、葦原を隔てた堤防上にはクスノキやエノキなどの林があります。ここには水辺を好むトンボやバッタ、チョウ類など多くの昆虫が息しており、子どもたちが安全に気軽に自然と触れ合える貴重な場所です。

この図鑑は、この貴重なフィールドで自然体験活動を行う子どもたちのためのガイドブックとして、2020年3月に発行した「みんなで作ろう 高良川昆虫図鑑」の続編であり、昆虫とは切っても切れない植物との関係にも触れた自然環境を学ぶための入門書です。

●私たちは筑後川から多くの「水の恵み」を受けていますが、ここはまた多くの生き物のすみかともなっています。SDGsの目標15にある生物多様性を守ることは、私たちが持続可能な生活を創っていくことにつながります。そのためにも子どもたちから自然に触れ合い、自然体験活動の楽しさや生き物の生態やおもしろさを実感することが望めます。

●地球温暖化や外来種の侵入などにより生物多様性が脅かされている現在、この図鑑によって、市街地に隣接するこのような環境にも多種多様な植物や昆虫達が生息しお互いに共生していることを学び、自然を守る大切さを子供たちが実感できれば幸いです。

### この図鑑を使って行う自然体験活動

●「ちくご川子ども学芸員養成講座」は子どもたちの「得意分野をグーンと伸ばそう」を目標として2011年に始まり2023年に13年目を迎えます。この活動は小学生を中心に、7月から12月まで毎月1回、全6回参加の連続講座です。専門家が子どもたちに密着指導し5回の野外活動を重ねて各自の調査研究を行います。最終回に自分の調査研究成果のまとめの作品を作り、みんなの前で各自発表まで行った人に「ちくご川子ども学芸員」の認定書を授与しています。今まで12期107人の子どもたちを認定しました。この講座では子どもたちの探求心、自立心、まどめる力、発表力を育てます。

●「高良川子ども昆虫探検隊」は2023年に4年目を迎えます。初心者向けの昆虫探しを行う年間6回程度の自然体験活動です。興味を示し始めた幼少の子どもたちや保護者が参加してこのフィールドで自然と触れ合いながら好奇心をい興味を深めます。

●「昆虫標本づくり講座」は2023年で8年目を迎える、毎年4.5月に行う2回連続講座です。昆虫の専門家から付きっきりで昆虫採集の仕方や、標本作りのテクニックをきちんと学ぶことができます。

■[表紙と裏表紙]に子どもたちが撮った昆虫のスケッチを掲載しています。[25P]には、地球温暖化や外来種の侵入による生息環境の変化について、[31P]には上記3つの自然体験活動を写真で紹介しています。この図鑑の写真はすべて独自取材のもので、25Pの記事はBiomeおよびWikipediaを参考としました。

2p(左)、3p(右)：この活動のフィールドマップ、植物の配置図を合わせて紹介